

ここでは、議員の質問から主な項目をご紹介します。すべての質問項目は、ホームページでご覧いただけます。

急げ災害時要援護者対策／自然エネルギー活用促進を

広 森 すみ子 議員
(日本共産党)

◆要援護者登録制度

災害時に自力で避難が困難な高齢者や障害者を、市と地域の支援者(消防団、自治会、民生委員など)が安否確認や避難の介助を行うための事前登録制度と、支援計画の具体化を急ぐ必要があります。

市民部長 登録制度は市民や関係団体の協力が不可欠で市民サイドの考え方や取り組み方、方法など具体的な意見、意向を把握し実施展開を図ることがスムーズな普及につながるかと考える。まずは問題点や改善点などを見いだすため、試行的に特定の地域で検証している。また、災害時要援護者支援計画も協力願える自治会に依頼し、支援活動を行う立場から計画に具備すべき事項や情報項目、内容を精査している。

◆支援のためのマニュアル(手引書)

災害弱者をもしもの災害から守るため、安否確認、正確な情報の伝達、避難生活の手助けの方法などのマニュアル手引書が必要ではないか。

市民部長 災害時要援護者支援計画と同様、支援制度の仕組みや流れ、計画の作成など精査している。

◆自然エネルギー(太陽光発電)の導入

福島第一原発の重大事故以来、原発依存から自然エネルギーへの転換を求める声が高まっています。公共施設への太陽光発電導入計画の具体化と、住宅への太陽光発電システムの補助制度を拡充すべきではないか。

環境経済部長 改修計画などと整合性を図り、検討。補助制度の拡充は24年度以降の計画はないが、社会状況や国の動向を見極め、今年度改定する地球温暖化対策実行計画の中で自然エネルギーの普及を検討。

地域防災計画の見直しを

大 沢 えみ子 議員
(日本共産党)

◆東日本大震災をふまえ、次の点から地域防災計画の見直し、検討を行ってください。

- ①新規建設の施設には、予備電源や給水など、災害時に避難所にできるような整備を行う
- ②高齢者や障害者など、災害時要援護者のための二次避難所の運営規定を計画に位置づける
- ③かまどや簡易トイレなどの機能を備えた防災公園を各地域に整備する
- ④体育館をはじめ、公共施設耐震化の前倒しを
- ⑤バッテリーシステムのある信号機の増設と、停電時の緊急対応として、交差点に簡易補助信号を



防災公園の簡易トイレ

市民部長 ①狭山市駅西口に建設中の市民交流センターに臨時水道、電源、仮設トイレが設置できる設備を調整している。②緊急にケアが必要な方の状態の把握が肝要であるが、その上で医療的な支援も含め、今回の震災を検証する中で考えていく。

市長 ③避難所に隣接して設置されている備蓄倉庫の機能の充実を図ることや、防災機能を有するベンチなどを設置することも重要と考える。④耐震化が計画されていない施設は、公共建築物改修計画の見直しの際に検討する。特定建築物や防災拠点、実施計画をローリングしていく中で、前倒しを含め早期実施に努める。⑤停電時の交通安全の確保という点で有効であり、時宜をとらえて関係機関へ要望していく。

※このほか「郵便投票制度の改善」などについて質問

建物の耐震化および熱中症対策

萩 原 義 典 議員
(大 河)

◆公共施設の耐震化状況について

①市内の学校・公民館などの耐震化の進捗状況、今後の計画は ②新狭山幼稚園(公民館)の耐震化が他の幼稚園より後になっているのはなぜか(この施設は幼児から高齢者まで利用する複合施設である)

生涯学習部長 ①小学校は全て完了、中学校は未実施の7校中、4校で完了。幼稚園5園と公民館で未実施の6館は27年度までに完了予定。②幼稚園は統廃合を検討中で新狭山は方向性を見る必要があるが、公民館は改修などの検討で27年度と位置づけた。

◆一般住宅の耐震化に伴う補助等について

①一般住宅の耐震化で固定資産税の減額や耐震改修補助制度があるが、利用状況とさらなる周知方法は ②部屋の一部のみの耐震化でも対象となるか

総務部長 ①19年度から現在で36件の申請。広報、ホームページ、窓口に加え、チラシの設置箇所を増やすなどで対応。②改修の適合証明書で、減額の対象。

建設部長 ①19年度から22年度に19件の申請。広報、ホームページ、窓口に加え、広報の特集や建築士会と共催の相談会での資料、狭山市駅東西自由通路へのポスター掲示など ②昭和56年5月31日以前の建築で耐震性がないと判断されても基準確保で対象。

◆高齢者の熱中症対策について

昨年の猛暑にて高齢者の熱中症による孤独死が問題となったが、本年度も同様の問題が起きる可能性がある。市としてどのような対策を考えているか。

長寿健康部長 広報やホームページ、ケーブアルテレビなどで周知。民生委員が8月から行う75歳以上の方の世帯の訪問調査で熱中症予防も説明する予定。

ここでは、議員の質問から主な項目をご紹介します。すべての質問項目は、ホームページでご覧いただけます。

民間活力の導入／狭山ブランドの発信／地域防災計画

矢 馳 一 郎 議員
(無 所 属)

◆民間の知見を生かした、さらなるレベルアップを

民間活力の導入は行財政サービスの向上に関する中長期的視点から評価・議論されるべきであり、そのために必要な情報公開や、民間人材の登用の拡大などによる市の人材のレベルアップを推進すべきでは。

◆厳しい自治体間競争を脱して

市外からの転入・定住の促進には狭山市のブランディングの強化が必要であることから、たとえばマーケティング課のような、狭山ブランドを専門的にプロモーションする部署をつくるべきでは。

市長 ブランディング強化の体制整備や人材確保は、行財政改革を進める中で、他の施策との調整に配慮するもの。まずは情報発信に努め、今後は企業の経営感覚も取り入れた市政運営を心がけていく。

◆国や県を待たずにできることを

震災直後の今だからこそ、地域防災計画の見直しに必要な情報収集や民間企業との災害時の応援協力体制の拡大の検討など、狭山市独自でできることの早期実施が必要では。

市民部長 現在34社と災害時の協力協定を締結している。企業などとの連携は、災害復旧に向けたさまざまな資機材や労力、食料、生活用水など必要な物資などの緊急調達を視野に実施している。このほか他の自治体との災害時相互応援協定や公共的団体との協力の体制の確立のための協定も締結している。今後必要に応じて協定の締結に努めていく。

健康を守るために

綿 貫 伸 子 議員
(公 明 党)

検診事業の充実と予防接種事業

◆乳がん、子宮がん検診を毎年行うことが、女性の健康を守ることに必要と思うが市の見解は。

市長 当市のがん検診は国のがん検診指針に基づき実施しており、隔年で実施することとしている。

◆新座市や入間市では乳がん、子宮がん検診を毎年行っている。また、他の集団検診も土・日曜日に検診日を設定、女性対象特定受診日の設定など、市民のニーズに合わせている。次の点に対して市の見解は。

- ①一日の検診日に全ての検診項目(胃がん、肺がん、大腸がん、乳がん、子宮がん)を受診できる体制づくり
- ②検診日に土・日曜日を入れる
- ③女性対象特定受診日の設定と保育ができる環境づくり

長寿健康部長 ①申込方法や実施方法を検討する必要があると考えている。②集団検診では土・日曜日に医療スタッフをそろえることが難しく、平日のみ実施している。③医師会と協議する。幼児を連れて来所した方には、スタッフが対応をしている。

◆この4月から開始された子宮頸がん予防ワクチン、ヒブワクチン、肺炎球菌ワクチンの接種状況は。

長寿健康部長 4月末の時点では、子宮頸がん予防ワクチンが6件、ヒブワクチンが延べ191件、小児用肺炎球菌ワクチンが延べ215件、高齢者の肺炎球菌ワクチンが30件の状況。

◆子宮頸がん予防ワクチンの供給不足により、年度内に接種が終わらなかつた方への市の対応と情報提供の仕方は。

長寿健康部長 国の動向を見守り、事業が継続できるよう対応する。情報は広報、ホームページを基本に、医療機関へのポスター掲示、回覧などで周知する。

地デジ補助／広告事業／事業仕分け

笹 本 英 輔 議員
(大 河)

◆地デジ補助について

国の地デジ補助について苦情や問い合わせが殺到していると報道がありました。この地デジ対策補助について「日付をさかのぼって補助が受けられないのは公平感に欠ける」との声が寄せられています。今後の国への要望指針・対策は。

市長 市の実態を考慮し、区域内の方々が広く活用できるような事業のあり方、適用の可能性なども研究を進め、国に具体的な提案として要望していく。

◆広告事業について

厳しい財政状況が叫ばれている中、歳入増収・確保対策が必要です。税収に頼らない歳入確保策のひとつとして広告収入がありますが、ネーミングライツ(命名権)事業の導入や、さらなる広告事業の拡大拡充を図るべきだと考えますが、市の見解を。

市長 ネーミングライツ事業の導入への課題や条件を整理し、要綱の中で整備していく。

◆総合政策部長

有料広告事業は、市にとって財源確保策として有効で、企業にも広告効果が見込まれる。さらには企業との協働で市民サービスの向上や地域経済の活性化が期待できることから、広告事業の拡充と広告媒体の拡大が必要と考える。

◆事業仕分けについて

狭山市で行政評価が行われていますが、財政の適正使用の透明化を目的として、事業仕分けの導入を。総合政策部長 行財政改革推進委員会を評価の主体者に、本年度上期に試行的実施を検討中。対象事業は限られたものとなるが、まずは幅広い分野から委員会の目線で選定していただきたいと考えている。